

校長 だ よ り

～舞台祭によせて～

平成23年9月22日

校長 與那覇 健勇

「うたとうさんしんぬ んかしはじまいや すびぬ あかいんくからやさ」と聞いて育った私も読谷人。やはり、ここ読谷の地は昔から芸能音楽や踊りの盛んな地域なんです。先人達が築いた伝統、その音楽や踊りを中心とし、それらを得意とし、それらを愛する文化は君たちがよく継承しているとおり「読谷DNA」のなせる技なんです。

人前に立つことにおじけずかず、むしろパフォーマンスをもっとも得意とする皆さん。今日は思い切りはじけてください。自分を表現してください。観客と一体になり度肝を抜いてください。視線を釘づけにして下さい。

「感動」とは感じて動くことから始まり、その極みは感じて動かすことだと思います。

宮本武蔵は「千日の稽古を鍛とし万日の稽古を錬とす」と彼の五輪書の中で言っていますが、今日まで、鍛錬を重ねてきた皆さんの今日の発表がどれくらいの人に感動を与えることができるかとても楽しみです。その感動の言葉が

ぶ ぶったまげたよ
た たのしんだよ
い いいかおしてたよ
さ さいこうだったよ
い いつまでものこるよ

のどれかであったらいいと思う。さあ、幕が開くぞ。